

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】令和2年9月24日(2020.9.24)

【公開番号】特開2019-140695(P2019-140695A)

【公開日】令和1年8月22日(2019.8.22)

【年通号数】公開・登録公報2019-034

【出願番号】特願2019-84809(P2019-84809)

【国際特許分類】

H 04 M 11/00 (2006.01)

【F I】

H 04 M 11/00 301

【手続補正書】

【提出日】令和2年7月31日(2020.7.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数のセンサと通信可能な情報処理装置であって、

前記複数のセンサのいずれかである検出対象となるセンサを特定すべく、イベントを出力する出力手段と、

前記出力されたイベントに反応した前記検出対象となるセンサを特定する特定手段と、  
前記特定されたセンサの固有情報に対応付けて登録すべく、前記センサに係る情報の入力を受け付ける受付手段と、

を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】

前記出力手段は、検出対象となるセンサごとにイベントを出力し、

前記受付手段は、検出対象となるセンサごとに当該センサに係る情報を受け付けることを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】

前記出力されるイベントは、出力を変化させたイベントであることを特徴とする請求項1または2に記載の情報処理装置。

【請求項4】

前記特定手段は、前記イベントの変化させた出力を検知したセンサを特定することを特徴とする請求項3に記載の情報処理装置。

【請求項5】

前記検出対象となるセンサは、前記情報処理装置に接触するように配置されることを特徴とする請求項1～4のいずれか1項に記載の情報処理装置。

【請求項6】

複数のセンサと通信可能な情報処理装置の制御方法であって、

前記複数のセンサのいずれかである検出対象となるセンサを特定すべく、イベントを出力する出力工程と、

前記出力されたイベントに反応した前記検出対象となるセンサを特定する特定工程と、  
前記特定されたセンサの固有情報に対応付けて登録すべく、前記センサに係る情報の入力を受け付ける受付工程と、

を備えることを特徴とする情報処理装置の制御方法。

**【請求項 7】**

複数のセンサと通信可能な情報処理装置で読み取り実行可能なプログラムであって、前記情報処理装置を、前記複数のセンサのいずれかである検出対象となるセンサを特定すべく、イベントを出力する出力手段と、前記出力されたイベントに反応した前記検出対象となるセンサを特定する特定手段と、前記特定されたセンサの固有情報に対応付けて登録すべく、前記センサに係る情報の入力を受け付ける受付手段として機能させるためのプログラム。

**【手続補正 2】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

本発明は、情報処理装置で検出対象のセンサを特定しセンサ情報を登録することが可能な仕組みを提供することを目的としている。

**【手続補正 3】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

本発明は、複数のセンサと通信可能な情報処理装置であって、前記複数のセンサのいずれかである検出対象となるセンサを特定すべく、イベントを出力する出力手段と、前記出力されたイベントに反応した前記検出対象となるセンサを特定する特定手段と、前記特定されたセンサの固有情報に対応付けて登録すべく、前記センサに係る情報の入力を受け付ける受付手段と、を備えることを特徴とする。

**【手続補正 4】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

また、本発明は、複数のセンサと通信可能な情報処理装置の制御方法であって、前記複数のセンサのいずれかである検出対象となるセンサを特定すべく、イベントを出力する出力工程と、前記出力されたイベントに反応した前記検出対象となるセンサを特定する特定工程と、前記特定されたセンサの固有情報に対応付けて登録すべく、前記センサに係る情報の入力を受け付ける受付工程と、を備えることを特徴とする。

**【手続補正 6】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

また、本発明は、複数のセンサと通信可能な情報処理装置で読み取り実行可能なプログラムであって、前記情報処理装置を、前記複数のセンサのいずれかである検出対象となるセンサを特定すべく、イベントを出力する出力手段と、前記出力されたイベントに反応した前記検出対象となるセンサを特定する特定手段と、前記特定されたセンサの固有情報に対応付けて登録すべく、前記センサに係る情報の入力を受け付ける受付手段として機能させるためのプログラムである。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

本発明によれば、情報処理装置で検出対象のセンサを特定しセンサ情報を登録することができる仕組みを提供することができる。